

Bonjour

ボンジュール!!

2013年
11月20日号

Vol.129



ドル・円100円台定着の鍵はイエレン氏?

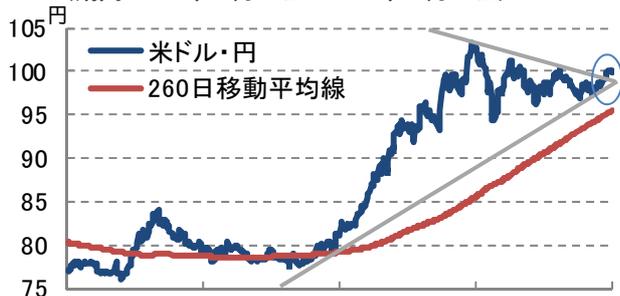
● 2ヵ月ぶりに100円台回復

直近のドル・円相場は「三角持合い」を形成し90円台後半で推移していましたが、11月14日に2ヵ月ぶりに100円台を回復しました。

「持合い」とは一定の範囲内での変動が続いている状態を指し、その上下の変動幅が段々小さくなっていき、チャートの形が三角形のようになる状態を「三角持合い」といいます。一般的に三角持合いを上抜けすると、その後上昇トレンドへ転換しやすくなるといわれているため、ドル・円相場もさらなる円安の進展が期待されます。

■ ドル・円相場

(期間:2011年11月21日~2013年11月20日)



11年11月 12年05月 12年11月 13年05月

出所:ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

● きっかけとなったイエレン発言

先週末に円安が進んだ背景は、米連邦準備制度理事会(FRB)の次期議長に指名されたジャネット・イエレン氏の発言です。イエレン氏は11月14日の指名承認公聴会で、量的金融緩和を継続する意向を示しました。

● イエレンさんってどんな人?

11月21日の米上院銀行委員会で指名が承認されれば、イエレン氏は史上初の女性FRB議長となります。イエレン氏は当局者の中でもFRB勤務経験が最も長く、近年はバーナンキ現議長の右腕として活躍してきました。夫のジョージ・アカロフ氏も著名な学者で、2001年にはノーベル経済学賞を受賞しています。

イエレン氏はかつて息子のベビーシッターに対し、「満足度の高いベビーシッターは良い仕事をする」との信念の下に相場よりも高い給料を支払ったといっています。彼女のこうしたスタンスは金融政策において雇用を重視する姿勢にも表れています。「失業率は単に統計の問題ではありません。長期間の失業は働く人とその家族を壊してしまいます」と今年2月の講演で述べています。11月14日の公聴会でも現在の失業率が高すぎると指摘し、雇用に特に高い関心を寄せています。

このような姿勢から、イエレン氏はインフレよりも経済成長を重視するハト派とみられていますが、今後も金融緩和をしばらく継続するのか彼女の一挙手一投足に注目が集まっています。仮に市場予想より長く継続すれば、投資家のリスク選好姿勢が強まり、円安がさらに進む可能性もあります。

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。